

中央労福協ニュース NEWS LETTER

労働者福祉中央協議会（中央労福協）

発行人 南部 美智代

No.182

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町 3-8 中北ビル 5F

Tel. 03-3259-1287 URL <https://www.rofuku.net>

シンポジウム

「女性のひろば」Web版 生活困窮者支援を語る！

一般社団法人つくろい東京ファンド・メンバー
カフェ「潮の路」コーディネーター

小林 美穂子さん

心をよせ、心を痛める、何かをしたい、情報を拡散する。
その行為が広がり続ければ社会は変わる。

中央労福協は9月22日、第4回シンポジウム「女性のひろば」をWeb開催し、加盟団体、関係団体から113名が参加した。

今回は生活困窮者支援活動を行っている一般社団法人「つくろい東京ファンド」メンバー・カフェ「潮の路」コーディネーターの小林美穂子さんを招き、『生活困窮者支援の現場から』をテーマに「多様な視点で見る。コロナ禍での若者と女性の貧困」について講演を頂いた。

コロナ禍で緊急事態宣言が続く中、見えないウイルスにビビりながら町を走り回り、助けを求める人々と出会い、泣き、行政相手に闘い、落ち込み、仲間に励まされ活動を続ける小林さん。見えにくい若者の貧困や急増する女性の生活苦、行政の人権の軽視、日本の人権感覚の欠如、厳しすぎる福祉制度の実態を語った。

また、新型コロナウイルス流行の影響により団体間の交流がはかれない今、第2部リモート分散会ではブレイクアウトルーム機能を使い、グループでのディスカッションを体験。中央労福協の神津会長や南部事務局長、小林さんも参加し18組のグループが活発な意見交換を行った。

最後、各グループからの発表では、小林さんへの質問が活発に出され予定の時間を過ぎての終了となった。

No.182 Topics

- 2面 地域に一步踏み出す「行動」「参加」「発信」を
- 2面 「ともに運動する主体」労働組合と事業団体で手を取り合おう
- 3面 市民の見守りで子どもを守ろう～子ども虐待防止のために
- 3面 ブレイクアウトルームでリモート分散会
- 4面 ろうふくエール基金取り組みレポート：岩手労福協
- 5面 南部ブロックより YouTubeLIVE 配信にチャレンジ
- 5面 連載 71 散る桜、残る桜も散る桜
- 6面 2021 全国一斉奨学金に関する電話相談

地域に一步踏み出す「行動」「参加」「発信」を 第4回地方労福協会議を開催

中央労福協は9月29日、第4回地方労福協会議をWebにて開催し、地方労福協、事業団体、中央労福協から57名が出席した。

座長の岡田副会長の進行で、2021全国福祉強化キャンペーン、2022～2023年度活動方針（素案）、第65回定期総会の運営方法等について意見交換を行った。岡田副会長は冒頭挨拶で「コロナ禍の中で各地方労福協は様々な工夫をして取り組みを行っている、全国福祉強化キャンペーンでは、ポストコロナ社会を見据えた取り組みを提起しているので、引き続きの運動の展開をお願いしたい」と語った。

全国福祉強化キャンペーンの重点活動のうち、本年から新しく設定した「チャレンジ行動」の具体的なイメージを共有するため、岩手労福協の地域貢献活動（レッドカー

ペットプロジェクトへの参加）を紹介するとともに、北海道労福協からコロナ禍で困窮する若者・学生を応援するほっかいどう若者応援プロジェクトの報告をいただいた。

全国統一で取り組む「ミニマム行動」では、現在実施中の奨学金返済や教育費の負担を軽減するための税制支援を求めるオンライン署名との相乗効果をはかるため、ハッシュタグアクションと当事者の声投稿ページについて協力・拡散を呼び掛けた。また、労金協会、こくみん共済coopから、キャンペーンでの連携対応について報告があり、それぞれの取り組みを共有した。

11月26日の第65回定期総会の開催方法や2022～2023年度活動方針（素案）の意見交換も行われた。活動方針（素案）は加盟団体からの意見を反映し、10月27日の幹事会で（案）を確認し、定期総会で決定する。

「ともに運動する主体」労働組合と事業団体で手を取り合おう 2021年度 労働組合・事業団体合同会議を開催

中央労福協は10月12日、2021年度「労働組合・事業団体合同会議」を開催した。2021年11月26日に開催する第65回定期総会の前段の会議として、労働組合と労働者福祉事業団体が「ともに運動する主体」として相互連携を強めていくことを目的に実施する加盟労働団体トップ訪問や「2022～2023年度活動方針（素案）」など、各議題について忌憚のない意見交換を行った。

座長の中央労福協・伊藤敏行副会長（フード連合・会長）は「明日から加盟労働団体トップ訪問がスタートする。我々の運動は対面で意見交換をすることで取り組みの強化につながる側面がある。労働者福祉事業と労働組合がともに運動する主体として引き続き手を取り合って進めていけるようお願いしたい。」として、2021全国福祉強化キャンペーンの取り組み協



化を含めて呼びかけた。

各団体報告では、コロナ禍が生活者の暮らしや雇用に深刻な影響を与えていること等に鑑み、それぞれの新しい取り組みや事業継続上の課題等についての情報共有があった。会議はWeb形式で開催し、各労働団体・事業団体から53名が参加した。

市民の見守りで子どもを守ろう～子ども虐待防止のために 第13回 Web 学習会

中央労福協は10月1日、認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワークの吉田恒夫理事長を講師に迎え、児童相談所での相談件数が過去最高を記録するなど深刻さを増している子どもの虐待問題に関するWeb学習会を開催、94名が参加した。

昨今の報道ではコロナ禍による巣ごもりで子どもの虐待が急増しているかのような印象を受けるが、統計ではそれほど影響は見られないという。むしろ20年以上前から虐待件数は増え続けており、年間80人近くの子どもの命を落としているというのが実態だ。その背景には親の貧困、夫婦と家庭の崩壊、貧困の世代間連鎖など複雑な要因があり、虐待を生み出さない環境整備は簡単ではない。引きこもりや介護と同様に、家庭だけでは支えきれない、子どもを中心に置いた地域の望ましいあり方を考える必要がある。吉田理事長は「子どもの虐待防止には、予防→発見→支援といった切れ目のない支援が必要となる。そのためには行政、学校、民間団体など幅広い応援者を含めたネットワークの構築が大事」と説く。

同NPOが取り組む児童虐待防止の啓発を行う「オレンジリボン運動」についてもご紹介いただいた。子どもへの虐待による痛ましいニュースを聞くたびに何かできないかと自問しつつも、行動に移せないという方も多い。オレンジリボンをつけること



で虐待防止の意志を表明すること、子どもや子育て中の親へのねぎらいのひと声をかけること、温かい眼差しを送ることなど、一人ひとりができることをすることが児童虐待の防止につながる。一市民として、一歩踏み出す、自分ごととして考えるきっかけをいただいた。

第16回 Web 学習会のお知らせ

「(仮題) ケアラーの実態

～深刻化するヤングケアラー問題」

日本ケアラー連盟 代表理事 堀越栄子 氏

※このWeb学習会は、中央労福協各加盟団体、関係者の皆さんを対象としたものです。一般の方はご視聴頂けません。予めご了承下さい。

ブレイクアウトルームでリモート分散会（相談事例共有・意見交換） 第10回ライフサポートセンター（LSC）実務者・相談員研修を開催

中央労福協は10月12日、第10回ライフサポートセンター（LSC）実務者・相談員研修をWeb開催した。コロナ禍によって仕事や住まいを失い、生活に困窮している人々に寄り添い、2020年4月から全10回の電話相談会を展開している「いのちとくらしを守るなんでも電話相談会」の猪股正弁護士にご講演をいただいたほか、昨年に引き続きZoomブレイクアウトルームを活用した相談員同士の事例共有・意見交換を行った。

猪股さんからは、コロナ禍の1年間で累計約1万1,000件にも及ぶ電話相談の対応事例から、生活に困窮している方々の厳しい生活実態とそれをどのように解決につなげるか、解決のためにどのような制度を使うことができるのか、豊富な資料を交えて解説を頂いた。

後段のブレイクアウトルームでの事例共有・意見交換では、1グループ5～6人に分かれ、進行役が中心となって進めた。一部通信トラブルなどがみられたものの、画



いのちとくらしを守るなんでも電話相談会
猪股 正 弁護士

面を介して都道府県を超え相談員同士が顔を合わせることができた。参加者アンケートでは「同じ悩みを抱えていることがわかり安心した」「アットホームな感じで話しやすかった」など好評の声が寄せられた。

今こそ、支え合いのとき



ろうふくエール基金

助成先からの取り組みレポート

岩手 被災地に美しい椿のじゅうたんを

岩手労福協 被災地に美しい椿のじゅうたんを～支援の“根”を広げます



一般社団法人レッドカーペット・プロジェクト（以下、RCPという。）は、地元事業主（株式会社バンザイ・ファクトリー）が中心となり昨年6月に陸前高田市に創設されました。市花である椿で未活用土地を真っ赤に染めることで新しい景観を創り（観光資源）、その椿を原料とする商品製造を通じて身体障がい者を含む雇用の創出をめざしています。また、RCPでは、コロナ禍により休職や休業で収入が減少した労働者に対して、家計応援の一助に資するための就労の場を提供しています。

岩手労福協は、2021年度全国研究集会でRCPの活動が全国で紹介されたことを機に、東日本大震災からの復興および被災地支援事業に追加することを9月2日の第117回理事会で確認しました。RCP事業を支援するため

の助成金を贈るだけでなく、一緒に椿の植樹作業も行います。支援期間は向こう3年間としました。初年度である今年は、ろうふくエール基金から20万円を助成いただき、岩手労福協からも10万円を拠出し計30万円を寄付しました。

10月1日（金）には現地で贈呈式を行い、岩手労福協 佐々木秀市会長からRCP 高橋和良代表理事に支援金を贈呈、高橋代表理事から感謝の言葉をいただきました。同日には植樹も予定していましたが台風16号の影響によりやむなく中止。あらためて10月8日（金）に事務局が現地に出向き成木3本と苗木12本を植樹しました。RCPの計画およそ7,000本に対してこれまでに約1,300本が植樹されたそうです。




三陸 椿絨毯
 RED CARPET PROJECT

一般社団法人レッドカーペット・プロジェクト公式ウェブサイト
 ▼ <https://www.rcp.life/>



くわしくは「ろうふくエール基金特設ウェブサイト」をご覧ください！

▼ <https://www.rofuku.net/rofukuyell/>



南部ブロックより

YouTubeLIVE 配信にチャレンジ

10月14日、労働者福祉南部ブロック協議会では「研究集会」を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大状況も踏まえ、講師の皆さん・参加者のみなさんの、また所属団体・職場の安心・安全の確保を第一義に考え、できる範囲内で開催していくこととしました。

具体的には、「各県からの鹿児島市に集合しての開催は困難」と判断し、開催方式を変更（鹿児島実参加とYouTubeLIVE配信）した上で、開催期間を短縮（2日を1日）しての開催となりました。

まず、「心の病気を正しく理解する」というテーマで鹿児島大学医学部の赤崎教授から、人格の成り立ちと精神的不調をきたす疾患等について、これまでの数多くの経験に基づいてお話いただきました、これからの職業生活・職場運営等に活かすことのできる気づきを与えていただいたものと思います。

次に「身寄り問題に挑む」というテーマでNPO法人つながる鹿児島の芝田理事長からは、連帯保証人・身元引受人という慣習による社会的孤立・排除・差別等について、



自らの活動を通じた課題等についてお話いただきました。身近にある社会的な課題として認識を共有できたものと思います。

連載 71 二〇二一年十月

散る桜、残る桜も散る桜

三人の連合会長 山岸章・芦田甚之助・鷲尾悦也

一〇月六日の連合第一七回大会で新しい執行部が選出されたが、人選はずいぶん難航したと仄聞する。人事は悩ましい。時代は連合発足当時に遡る。連合初代会長は山岸章、二代目会長は芦田甚之助、

鷲尾悦也は三代目会長である。筆者は一九九一年に連合中央執行委員となり、その後連合本部に勤務したので、三人とも一緒に仕事をさせてもらった。

山岸章会長・山田精吾事務局長で発足した連合は、四年後の一九九三年一〇月の第三回大会で、山田が退任する。山岸は三選され、会長代行にゼンセン同盟（現UAゼンセン）の芦田甚之助会長、事務局長には鷲尾悦也（鉄鋼労連委員長・現基幹労連）のトロイカ体制となった。続投することになった山岸は新執行部を代表し、「散る桜、残る桜も散る桜」という意味深長な挨拶をする。

新事務局長になった鷲尾だが、実は当初は会長への立候補を表明していたのだ。筆者も直接支持を求められたことがある。八月五日熱海での連合中央執行委員会の帰路、こども号で同席した折り、突然「会長に立候補するのでよろしく」と言われたのだ。とっさに「頑張ってください」と答えたのだが、その夜遅くある新聞記者から「山岸ではなく鷲尾を支持するのですか」と自宅に電話が掛かってきたことを今でも鮮明に覚えている。

また、人心一新論から芦田を会長に推す声もあり、役員選考委員会では大会直前の九月末まで難しい調整が続いていたのであった。

その時のいきさつを晩年の山岸に直接問うたことが三度ある。二〇〇六年、二〇一三年、二〇一四年、タクシーの車中や和食店のことだ。しかし、三回とも直接答えはくれなかった。が、微妙な言い回しを筆者は聞き逃さなかった。「あの時点で辞めなければ、芦田の芽がなくなってしまう」と。それは翌九四年、山岸が任期を一年残して辞任、会長代行の芦田にバトンを譲った時のことを指している。

とすると、「散る桜、残る桜も散る桜」の意味は、一足先に退任する同い年の山田に感謝しつつ、自分もあと一年で芦田に引き継ぐつもりであることを示唆した挨拶だったと確信したのである。山岸の自伝（我が闘争）では、あくまでも健康上の理由で辞任したと強調しているのだが。

その後、芦田は連合会長を三年務め、鷲尾は一九九七年の第五回大会で、ようやく三代目の会長に就いたのであった。

三人の会長、初代の山田事務局長、四人とも鬼籍に入られたので、もう真相を聞くことは叶わない。いつの世も、どんな組織でも人事には不思議な巡り合わせがあるものだとつくづく思う。（高橋均）

返済できない。 減収・失職。 結婚したいけど... 将来への不安。 コロナの影響で... 誰にも相談できない。 借り換。 生活が苦し。 返済が滞ってまった。 先が見えない。 働くことができない。 自己破産ってどうなの？ 家族に迷惑は掛けられない。

もう悩まないで。
あとは一緒に考えましょう。

全国一斉
奨学金に関する電話相談
10～12月、全国各地で実施中！

集中相談日

一斉相談日 (11/11) に相談したい方

下記の対応時間中に、記載のフリーダイヤル番号にお掛け下さい。

2021年 **11月11日** (木) 10:00 ~ 19:00

フリーダイヤル **0120-416029**
よいろーふく

一斉相談日 (11/11) 以外の日程で相談したい方

お住まいの都道府県での実施情報は特設サイトをご覧ください！

全国47都道府県での相談対応日、相談方法、電話番号などの情報を、特設サイトにまとめています。右のQRコードまたは「中央労福協」と検索して頂き、特設サイトにアクセスしてください。

2021 奨学金相談
特設サイト



こちらの取り組みにもぜひご協力ください！

「奨学金返済と教育費の負担軽減を求めるプロジェクト」

